2024 年 1 月作成
管理番号：07-06

子宮鏡検査に関する説明文書

この文書は、子宮鏡検査の目的、方法および合併症などを説明するものです。ご不明な点がありましたら遠慮なく担当医師にお尋ねください。

【病名と病状】
これまでの検査から次の病名と診断され、子宮鏡検査が必要な状況です。
☐ 子宮粘膜下筋腫
☐ 子宮内膜ポリープ
☐ 子宮奇形
☐ 子宮腔内癒着
☐ 子宮内膜増殖症
☐ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【目的】
子宮内腔に病気が疑われる場合、その病気の状態や治療方針の決定または治療効果の判定を目的として子宮鏡検査を実施します。

【方法】
1. 月経周期などにもとづき検査日を決定します。
2. 当院では、機器保管場所の都合上、手術室にて子宮鏡検査を行います。
3. 手術台にあがり、婦人科診察と同様の姿勢をとります。
4. 腟鏡を挿入して、子宮口を観察します。
5. 子宮口から子宮用の細い内視鏡を挿入して、モニターに映し出しながら子宮の中を観察します。所要時間は約 10 分程度です。通常、麻酔は不要です。
6. 病変の評価ののち検査を終了します。

【ご留意いただきたい事項】
1. 避妊
   検査前には避妊が必要です。妊娠の可能性がある場合には検査を延期します。
2. 食事・飲水制限
   検査当日の食事は普段どおりでかまいません。
3. 検査中の痛みなど
   検査中に気分不快など異変を感じられましたら、いつでもおっしゃってください。鎮痛剤を使用した上での検査も可能です。ご心配な場合には事前に担当医にご相談ください。
4. 細胞診や組織診の実施について
   必要に応じて検査中や検査中に細胞診や組織診を行うことがあります。
5. 安静度
   検査終了後に帰宅可能です。検査当日は過度な運動やアルコール類を避けてください。また、検査当日はシャワー浴のみとしてください。
6. 処方薬
   抗菌薬を処方いたします。指示通り正しく服用してください。検査後に腹痛が持続する場合は鎮痛剤を処方いたします。

7. 現在服薬中の薬剤の変更または休薬の可能性
   継続して内服中の薬剤がある場合は、事前に担当医にお知らせください。
8. アレルギーについて
   アレルギー体質、アトピー性皮膚炎や喘息の既往、その他、薬剤、食物などに対してこれまで何か反応が出たことがある場合は、事前に担当医や看護師にお伝えください。
9. 感染症検査について
   当院では処置に伴う医療者への感染防止のために、処置前にB型およびC型肝炎、梅毒、HIV検査をお受け頂いております。

【合併症および有害事象】
適切な手技で本検査を受けた場合でも、一定の確率で合併症や有害事象が起こることは避けられません。主な合併症として次のようなものがあります。

1. 感染
   頻度は0.13%とまれであり、通常は軽症です(Jansen FW,et al. Obstet Gynecol. 96:266-70,2000)。この感染を予防するために検査後に抗菌薬を内服いただきます。
2. 子宮穿孔
   極めてまれに子宮壁を損傷する（子宮穿孔）可能性がありますが、その頻度は0.06%とされております（Kayatas S,et al. Clin Exp Obstet Gynecol. 41:451-4, 2014）。穿孔が起きた場合は、腹腔鏡下もしくは開腹手術で子宮壁などの損傷の程度を確認し、修復する必要があります。

なお、上記の合併症その他の不利益が発生したときは当院において適切な処置を行います。当該処置は通常の保険診療であり、治療費は患者さんのご負担となります。あらかじめご了承ください。

【代替可能な検査法】
子宮鏡に代わりうる直視下検査はありません。超音波、MRI検査や子宮内腔の造影検査などで間接的な情報を得ることはできますが、子宮鏡による検査の精度や子宮鏡で得られる情報量を超えるものではありません。今回、これまでの検査などにより子宮内に病変があることが疑われますので、子宮鏡検査をお勧めします。

【検査を行わなかった場合に予想される経過】
子宮鏡の代替となりうる直視下検査はありませんので、本検査を行わない場合には正確な診断および適切な治療方針の立案に影響を及ぼす可能性があります。

【セカンドオピニオン】
現在のあなたの病状や治療方針について、他院の医師の意見を求めることができます。必要な書類をお渡ししますのでお申し出ください。

【同意を撤回する場合】
同意書を提出しても、検査の開始前であれば本検査を受けることをやめることができます。やめる場合にはその旨を担当医師もしくは病院まで連絡してください。

以上の内容をご理解頂き、十分に考慮した上で、当院にて本検査を受けるか否かをお考えください。

社会福祉法人聖母会聖母病院